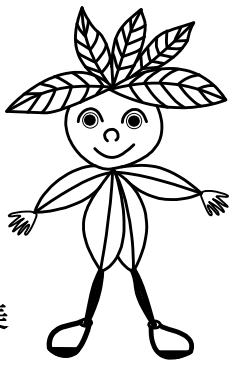


ゆずり葉



鴨居地区社会福祉協議会

2014年6月25日発行

第49号

発行責任者 岡本 幸美

鴨居地区社会福祉協議会 総会報告

平成二十六年五月二十四日(土)開催

二十六年度総会を終えて

新たにスタート

鴨居地区社会福祉協議会
会長 岡本 幸美

五月二十四日(土)午後七時から、理事、監事、代議員六十九名の出席を得て総会が開催されました。二十五年度の事業報告、決算報告、二十六年度の事業計画案、予算案が審議され、両議案とも満場一致で可決されました。

今年度は役員改選期に伴い退任者七名と、大幅な変更がありました。長年にわたり支えて下さった理事の皆様方には、感謝申し上げます。退任されました、地域の目、声になり、時には厳しいご意見等、今までご指導下さることを願っております。また、新理事七名の皆様には、新しい風となり新企画の提案を期待しております。

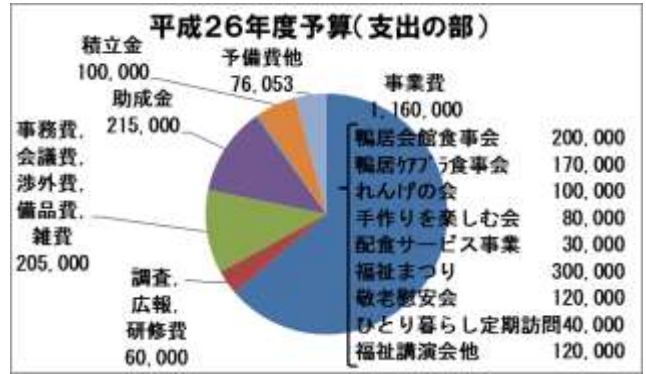
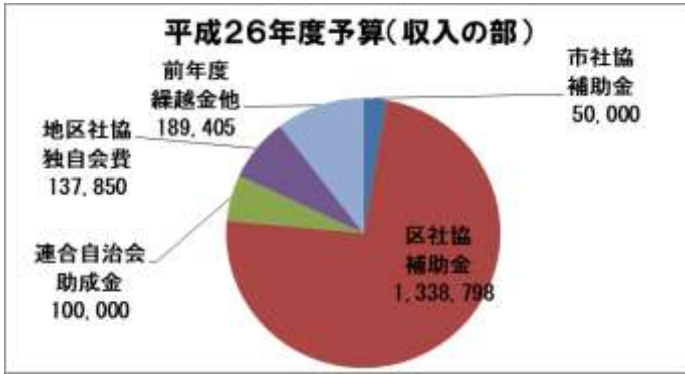
鴨居地区社会福祉協議会の原資は、地域の皆様の温かいお気持ちによる年末助け合い募金等によって支えられており、次の事業を行っております。

会館食事会、ケアプラ食事会、配食サービス事業、リハビリ教室れんげの会、手作を楽しむ会、鴨居福祉まつりなどです。参加してみようかなと思われの方は、地区民生児童委員の方にお尋ね下さい。

事業の一つ「鴨居福祉まつり」は十四回目を迎え、十一月二日(日)を予定しております。昨年同様、フリーマーケット、各種団体の模擬店、健康チェック等地域の皆さんが参加できる楽しいまつりです。

また、新たな取り組みとして、「古着のリサイクル」を計画しております。これは、昨年度いわき市の特定非営利活動法人「サ・ピープル」様を訪問した際に、一〇〇％リサイクルを行っている話を伺い、復興支援の一助になればと思い、企画を予定しています。皆様のご協力よろしくお願いたします。

最後になりましたが、鴨居地区社会福祉協議会を支えて下さっている、地域の皆様、ボランティアの皆様へ感謝申し上げます。今後ともご支援よろしくお願致します。



平成二十六年体制

会長	岡本 幸美
副会長	齋藤 恵子
事務局長	庄司 登志子
副会長	板垣 恵明
書記	小池 邦仁
副書記	杉浦 真由美
理事	鈴木 正雄
	鈴木 道子
	真道 利枝子
	中川 一人
	加山 友則
	小宮山 政行
	作田 豊彦
	島田 敏夫
	佐藤 恵子
	椿山 吉満
	木村 越子
	中野 玲子
	佐藤 隆
	中野 廣
	加藤 久子
	吉川 晃
	黒滝 剛
	柳沼 良一
	宮島 恵子
	江木 榮子
	湯川 芳子
	石関 早苗
	伊吹 太一
	岩岡 紀一
	岩岡 清
	柳下 勤
監事	
顧問	

二十五年度まで鴨居地区社会福祉協議会の役員としてご活躍いただきました。ありがとうございます。

- 副会長 齋藤 恵子
森本 悟史
梶谷 剛朗
石田 和子
酒谷 英一
廣野 達衛
佐藤 正和



ご挨拶

鴨居地区社会福祉協議会
前副会長 齋藤 恵子

「ゆずり葉」が、第八号から始まった事をご記憶の方がどれほどおられるでしょうか。二〇〇〇年の四月、鴨居地区社協が新メンバーでスタートするに当たり、先ず七号で途切れていた社協だより「あすなろ」を「ゆずり葉」と改称し、継承していくことになりました。植物の「ゆずり」は、新しい葉が伸びてから古い葉が落ちることによって、鴨居の社協の動きも次々と新しい方に引き継がれて行くことを願うのでした。

私はこの時からメンバーに加えて頂きました。活動が始まってから「社協って何をやるの?」「と聞かれても、なかなか簡単に説明するのは難しかったです。鴨居社協は、「地域の人の福祉関係の問題や悩みをお互いに協力しあって解決を図るところです。また、地域の人々の福祉活動に協力、支援します。鴨居にすむ人々の自覚のある自主的な活動が基礎になっています。自分達の地域の福祉課題はまず、自分達自身で取り組もう」という住民意識こそがその精神です。(ゆずり葉八号から転載)と、記されています。

十四年関わらせて頂いて、どれだけお役に立ったのかと思う所もありますが、社会福祉は、これからもっと必要とされる働きだと思います。今後は、自分のできる所での協力をさせて頂きたいと思っております。長い間、拙い者を支えて頂き、本当にありがとうございます。感謝し、お礼申し上げます。

総会に出席して

横浜市緑区社会福祉協議会
事務局長 鍋木 克芳

鴨居地区社協の総会に出席させて頂いたのは二回目です。驚いたのは、鴨居地区の地域概要、地域福祉活動の様子をパワーポイントで最初に説明していただいたことです。

「社協の活動は言葉、文字では分かりにくい」と言われる中で、「鴨居は高齢化がどこまで進んでいるか」、「地区社協の財源がどこから集まり、どこに使われているか」をグラフで示し、各福祉活動の様子、地区社協事業の様子を写真で見せることで、本当にわかりやすく説明してくださりました。

これはぜひ、区社協も見習ってほしいと思います。そして、活動団体が自ら報告、計画を説明するという、まさにみんなが地区社協の主役という形で進めていきました。

今回は長くお付き合いのあった理事さんが交代された寂しい思いと、知り合いの方が自治会長として理事になって新しい出会いがありました。

二十六年新生鴨居地区社協、期待しています。緑区社協も一緒に汗を流させていただきます。よろしくお願いたします。

配食サービスボランティアに携わって

配食サービス事業
濱田 トシ子

配食サービスは、おおむね六十五歳以上の虚弱な高齢者、高齢者だけの世帯又は、障がいのある方で食事づくりに苦労されている方を利用対象者としております。「キッチンハーモニー」の手作り弁当を、毎週土曜日の昼食に自宅まで配達、安否確認等も行います。

配達は、雨の日・雪の日(今年度は土曜日二週連続して雪)も行っており、そんな日ほど「今日はどうなのかしら」、「まだか」と心配しながら待つておられます。その時々により多少配達時間は異なりますが、利用者さまに「ありがとうございます」、「お味が私に合います」、「またご飯がとてもおいしい」、「どこのお米を使用したか」と、どこのお米が良かったと、また、利用者さまの家族からは、「土曜日出かけるのに安心して出られる」と喜びの声もあり、私たちボランティアとしても、とてもうれしく思います。



この配食サービス事業に協力して下さる「キッチンハーモニー」さんに、各地区の配食ボランティアの皆さんには、感謝、感謝でいっぱいです。これからも皆さんと共に活動に参加いたしましょう。

※配食サービスのお問い合わせは、各地区の担当民生委員までお願い致します。

編集後記

総会でのスライドを使用した事業紹介も定着してきました。総会が、様々な福祉活動をよりご理解いただく一つの場として位置付けられたいと思っております。本年の福祉まつりでの新企画「古着のリサイクル」は、皆様のご理解・ご協力が必要です。よろしくお願いたします。